

○議長（吉田敏郎）

日程第6 認定第6号 決算認定について（水道事業会計）の細部説明を担当課長に求めます。

環境上下水道課長。

○環境上下水道課長（田中栄之）

それでは、認定第6号 決算認定についてでございます。

地方公営企業法第30条第4項の規定により、令和元年度開成町水道事業会計歳入歳出決算は別冊のとおりにつき、監査委員の意見をつけて認定を求めます。

令和2年9月4日提出、開成町長、府川裕一。

初めに、決算書259ページをお開きいただきたいと思います。

令和元年度開成町水道事業報告書でございます。

1、概況、（1）総括事項です。令和元年度末の給水装置使用数は7,892個で、前年度と比較しますと170個の増となります。給水人口は1万8,050人で、前年度と比較して302人の増となっております。年間総有収水量は201万920立方メートルで、前年度比較では6,630立方メートルの減となっております。

増設改良事業については、水道施設の耐震化、更新工事を計画的に実施してございます。令和元年度は、前年度に着手しました高台第一浄水場第2配水池屋根の改修工事、高台第一浄水場No.3号配水ポンプ電動弁更新工事等を実施してございます。

経営状況については、収益的収入は2億3,580万8,474円で、前年度と比較して1,117万8,923円の減、収益的支出は2億124万9,249円で、前年度と比較し1,017万1,144円の増、結果として当年度純利益は3,455万9,225円となっております。

次に、決算書の244、245ページをお開きください。

令和元年度開成町水道事業決算報告書でございます。1、収益的収入及び支出です。こちらは、水道事業の経営、運営を行うための経常的収支予算に対する決算状況を表したものでございます。

収入です。第1款水道事業収益の収入予算合計額が2億5,638万3,000円に対しまして決算額は2億5,567万3,433円で、予算に対して70万9,567円の減となりました。減額の主な要因としましては、営業収益における給水収益が見込みよりも少なかったことによるものでございます。

次に、支出です。第11款水道事業費用の決算額は2億442万8円となっております。

次に、246ページ、247ページをお開きください。

（2）としまして、資本的収入及び支出です。この項目は、水道水を供給するための水道施設の新設や改造などの投資的経費の収支予算に対する決算状況を表したものでございます。

収入です。第2款の資本的収入の予算合計額が6,401万円に対しまして決算額は6,422万2,064円となり、21万2,064円の増となりました。増額の

要因は、消火栓交換箇所の追加に伴う負担金の増でございます。

支出です。第12款資本的支出の決算額は2億8,049万4,724円で、不用額は870万6,276円です。不用額の要因は、配水施設整備工事費の入札執行残及び予備費でございます。

なお、欄外に記載のとおり、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額につきましては、公営企業の会計処理基準にのっとり補填をしてございます。

次に、264から268ページの収益費用明細書及び資本的収支明細書でございます。こちらの詳細につきましては、令和元年度開成町歳入歳出決算事業別説明書により御説明をいたします。説明書の82、83ページをお開きいただきたいと思います。

まずは、収益的収入です。1款水道事業収益、1項営業収益、1目給水収益、1億8,306万1,361円。延べ4万6,954件分の水道使用料収益でございます。

2目が受託工事収益、これは水道利用加入金でございます。

3目その他の営業収益、手数料になります。こちらは、書いてございますような各種手数料となっております。

3つ飛ばしまして、2項の営業外収益、長期前受金戻入益、こちらは減価償却費のうち補助金等で取得した部分の戻入益ということで、これは会計処理上の取扱いにより発生するものでございます。

1つ飛ばしまして、資本的収入に移ります。2款資本的収入、1項分担金、1目配水管布設分担金、配水管の布設工事に係る分担金でございます。

2項負担金、2目他会計負担金、こちらは消火栓44基の更新に係る負担金でございます。

5項企業債、高台第一浄水場第1配水池耐震補強工事に係る起債を起こしてございます。

説明書の84、85ページをお願いいたします。

収益的支出になります。11款水道事業費用、1項営業費用、1目原水浄水配水及び給水費、水質検査、給水配水管の維持管理等を実施してございます。

2つ飛ばしまして、4目有形固定資産償却費、こちらは有形固定資産の減価償却経費でございます。

5目資産減耗費、有形固定資産の除却の経費でございます。

2項営業外費用、1目支払利息、企業債のうち利子返済に係る部分でございます。

2つ飛ばしまして、資本的支出に移ります。12款資本的収支、2項建設改良費、1目配水施設整備工事費、老朽化した建物や設備及び管の更新工事を実施してございます。下段に主なものを挙げてございます。

2目メーター費、計量法に基づきまして1,192個の検満メーターの交換工事を実施してございます。8年をサイクルとして交換をしているものでございます。

3項企業債償還金、こちらは同じく企業債の元金部分の償還に当たる部分でございます。

改めまして、決算書248、249ページをお開きいただきたいと思います。

令和元年度開成町水道事業損益計算書です。この計算書は、令和元年度の1年間の損益について、税抜きで計算したものとなっております。下から4行目、収益から費用を差し引いた額である当年度純利益は、3, 455万9, 225円となりました。

次に、250、251ページをお開きください。

こちらは、令和元年度開成町水道事業剰余金の計算書でございます。この計算書は、水道事業の企業内に留保している剰余金及び資本金の変動額を表示したものでございます。

次に、254、255、256ページをお開きください。

こちらは、令和元年度開成町水道事業貸借対照表でございます。こちらは、税抜きの表示となっております。この表は令和元年度末における水道事業の財政状況を資産と負債、資本の部に区分し、対照した表でございます。256ページの下から4行目、利益剰余金合計3億5, 615万5, 963円、こちらが令和元年度末における水道事業会計の剰余金となっております。

続きまして、260ページをお開きください。

ここから附属資料の説明でございます。最初に御説明いたしました事業報告の続きになります。

2、業務です。(1)の業務量でございますが、表中の1行目の年度末給水人口は1万8, 050人、前年度と比較して302人の増となっております。次に、中ほどの年間配水量は214万8, 080立方メートル、1日平均では5, 885立方メートルとなりました。下段の年間有収給水量は201万920立方メートルで、有収率は93.6%となっております。

以下、事業収入に関する事項、事業費用に関する事項、主要契約の要旨、企業債の概要となっております。後ほど御覧いただきたいと思います。

次に、262ページを御覧いただきたいと思います。

こちらは令和元年度開成町水道事業キャッシュフロー計算書で、資金の流れを表したものでございます。こちら、後ほど御覧いただきたいと思います。

続いて、隣の263ページを御覧ください。

このページは財務諸表に関する注記でございまして、重要な会計方針、以降、固定資産明細書等につきましては後ほど御覧いただきたいと思います。

説明は以上です。

○議長（吉田敏郎）

認定第6号 決算認定について（水道事業会計）の細部説明を終了とします。